

俺は小西。運動会を愛する小学6年生。

俺の夢は、運動会で優勝をすることだ。そのためだったら、何でもする。

みんなが遊び、学んできたこの学校で6年間、俺は運動会で優勝する方法だけを考えてきた。

そして、今年、俺はついにその考えを決行したのだ。

玉入れ。俺の考えた作戦は、スタートと同時にポケットに入っている袋に球を入れ、その袋をかごに入れるという作戦だ。

スタートと同時に、俺達はせつせと袋に球を入れた。全ての玉を袋に入れた。いける！
だが、パンパンの袋はあまりにも重く、かごに入れることはできなかった。

次だ次！最後のリレーだ。

俺はこの時のために、お小づかいを使い果たし、100mの長さのバトンを作ってきた。

そのバトンを使えば、走らなくても向こう側の味方にバトンをわたせるのだ。

スタートのピストルになる。だが、俺の味方は100mのバトンを持ち上げることができなかった。なにせ、重さ100kg。

氏名

問題一 小西は、6年間、

だけを考えて。

問題二 小西の考えた2つめの作戦とはバトンの長さを

する作戦。

問題三 小西の2つの作戦のうち命的な欠点とは

※終わったら主語述語